

算数

名前

丸つけ・直しまでやった場合は日付を記入。やれなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」のスタンダード例題	
② 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の基礎演習	
③ 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の家庭学習Aプリント	
④ 5年基礎力養成問題2月号 日付にあわせて1日1ページ	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの(Gクラスは必須)	日付
① 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」のハイレベル例題 (授業でハイレベル例題を扱った場合、その問題は☆☆☆)	
② 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の家庭学習Bプリント (授業でハイレベル例題をすべて扱った場合、☆☆☆)	
③ 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の思考力養成問題 (授業で思考力養成問題を解いた場合は☆☆☆)	
④ Gラボ算数(入試問題に挑戦) 下記QRコードの入試問題	

応用④は概ね今回の単元に対応しています。できれば問題を見たら再生を中断し、紙やノートに解いてから視聴してください。

入試問題動画QRコード



授業動画について

内部生限定で、5年生のレギュラー授業(授業回)の動画を、一定期間配信いたします。欠席時や、復習の際に分らなくなった場合、あるいはハイレベル例題を授業で扱わなかったけれどチャレンジしたい場合にご活用ください。本動画は、限定公開としておりますので、レギュラー生のみ利用できるものである点にご留意ください。

内部生用ページ(<https://labo-g.net/grade-2027>)からご視聴ください。

次のページにも案内がございます。

担当からの連絡

新5年生の算数の授業がスタートしました。

1週間にこなさなければならない量が増えます。

まずは基本メニューを最優先に、1週間の中での復習のサイクルを作っていってほしいと考えています。
(例：授業の翌日までに基本メニュー①、残りは次の授業の前日まで。演習回までに基本メニュー①はやる)

分からない例題があれば、授業動画を視聴して理解しましょう。たとえば基礎演習でも同様の問題が例題にあれば、まず動画で理解することができます。例題とは異なるタイプの問題、それでも分からない問題があれば、授業前後に質問に行きましょう。特に演習回の授業前をおすすめします。

本日は「表とグラフ」、「角度」を扱いました。

表とグラフに関しては、算数入試での出題は多くありませんが、社会でも統計を読んでいく際に必要なものです。単位を見間違えたり思いこんだりしないように。

角度に関しては、図の中に分かった条件(角度など)・補助線を書き込む習慣をつけましょう。

この書き込みの差が、図形問題を解く上での大きなポイントとなります。

宿題の進め方のアドバイス

今週の基本メニューの①～③は以下の通りです。

- ① 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」のスタンダード例題
- ② 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の基礎演習
- ③ 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の家庭学習Aプリント
- ④ 5年基礎力養成問題2月号 日付にあわせて1日1ページ

・①は授業内で正解した問題であっても、全問取り組んでください。

・①を解く→①の丸つけ・直し→②を解く→②の丸つけ・直し→③を解く→③の丸つけ・直し

このように、一つずつ丸つけ・直しをした方がよいでしょう。

ただし、ほぼ全問解ける場合には、一気にやっても構いません。

・「直し」とは、間違えた問題を自分の力でもう一度解いてみることです。計算ミスなのか、考え方が分かっていないのかによって次のステップが変わります。

計算ミス→正しい答えになっていれば終了。

同じようなミスを繰り返したら、冊子にメモをして、□で囲み自分で認識する。

分からない→授業用冊子をもう一度読む。解き方が理解できれば終了(できれば自力で再度解く)。

それでも分からない場合、その問題に蛍光ペンなどで印をつけて動画視聴 or 後日質問へ。

質問する問題のページに付せんを貼っておくとよいでしょう。

今週の応用メニューの①～④は以下の通りです。

- ① 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」のハイレベル例題
(授業でハイレベル例題を扱った場合、その問題は☆☆☆)
- ② 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の家庭学習Bプリント
(授業でハイレベル例題をすべて扱った場合、Bプリントは☆☆☆)
- ③ 第1回 復習用 「①表とグラフ(1)」「②角度」の思考力養成問題
(授業で思考力養成問題を解いた場合は☆☆☆)
- ④ Gラボ算数(入試問題に挑戦)

・①は授業で扱った問題は必ず取り組みましょう。扱わなかった問題はやらなくてよいです。

・②は余裕があればチャレンジして、分からない問題は解説を見ましょう。

質問に行く場合、解説を読んでどこが理解できなかったか質問するようにしましょう。

・③は授業で扱った場合は必ず取り組みましょう。扱わなかった場合は余裕があればチャレンジして、分からない問題は解説を見ましょう。

・④は解く時間がなければ見るだけでも構いません。